

ICU ジェンダー研究センター 冬学期読書会

2018 Winter 参加者募集!

ICUジェンダー研究センター(CGS)では毎学期、学生主催で一冊の本をみんなでじっくりと読む、読書会を開催しています。一人で読むのは難しい本も、みんなで読めば大丈夫。わからない部分をお互いにシェアしながら、楽しく読み進めましょう!

木曜 12:40-13:50

開催日: 12/6、20、1/17

村田沙耶香『コンビニ人間』 & *Convenience Store Women* を読む ～ジェンダーと翻訳について考える～



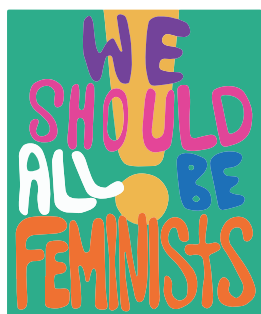
1月25日(金曜・18-20時)、ICUに村田沙耶香(作家)さんと竹森ジニー(訳者)さんをお招きし、ジェンダー、文学と翻訳、そして『コンビニ人間』の英訳*Convenience Store Woman*について考えるイベントを開催します。この対談に向けて、英語と日本語、2つの言語で翻訳に焦点を当てながらジェンダーの視点からこの小説を読み解きます。文献はできれば各自で入手をお願いいたします(日本語原書か英語訳どちらでもOK)。

担当: フリアナ・ブリティカ・アルサテ (CGS助手/p001909m@icu.ac.jp)

月曜 12:40-13:50

開催日: 12/10,17 (月2回)

チママンダ・アディーチェの本でランチタイムを!



チママンダ・ンゴズィ・アディーチェは著書への受賞歴のあるナイジェリアの小説家です。最新刊は*Dear Ijeawele, or a Feminist Manifesto in Fifteen Suggestions*で、彼女は50ページほどの本を、どうやったら自分の女の子の赤ちゃんをフェミニストとして育てられるか尋ねてきた友人の求めに応じて書きました。

読書会ではこの本と併せて、TEDトーク (<http://urx2.nu/NJii>) での発表にもとづいた *We Should All Be Feminists* という本も読みたいと思います。これらの本は短いだけでなく、シンプルで平易な英語で書かれているので、この読書会は英語のネイティブでない人には英語を練習する良い機会にもなりますよ!

担当: ICUのロータリー平和フェローで、ポルトガル出身のリサです。アフリカを含む世界中の複数の国に住んでいました。アフリカのフェミニスト作家の著作をもとに、日本や他の地域のなかまとも議論できるのを楽しみにしています!